

ユニバーサルデザインの意義

東京パラリンピックのレガシーをどこへ導けばよいか

何故B FやU Dを進めるのか

～誰もが等しく学び、楽しみ、働けるために～

- ①いつでもどこでも自由に移動ができること
- ②そして、学び、楽しみ、働けること
- ③国連障害者の権利条約のゴールとは
- ⑤公平性、多様性、だれ一人取り残さない、



バリアフリーやユニバーサルデザインに立ちはだかるもの

■ 物的バリア

⇒ 駅や車両へのアクセス、車椅子利用者用駐車場がない、
道路の管理が不十分、視覚障害者誘導用ブロックがない、
授乳室、オストメイト設備がない、依然としてバリアだらけの学校や公共施設

■ 制度・運用ルールของバリア

⇒ 障害を理由に普通学校で学べない、資格が取れない、
利用不可者の区分がある、客席が自由に選べない、
バリアフリー法の適用除外、

■ サービス、接遇のバリア

⇒ 合理的配慮がない、アルバイトや従業員の研修が出来ていない、
ジャパントクシーで乗車拒否を受ける

■ 情報のバリア

⇒ WEB情報にアクセスできない、手話や文字情報がない、バリア表示も必要
外国人に分からない案内、見学できるルートが説明不足

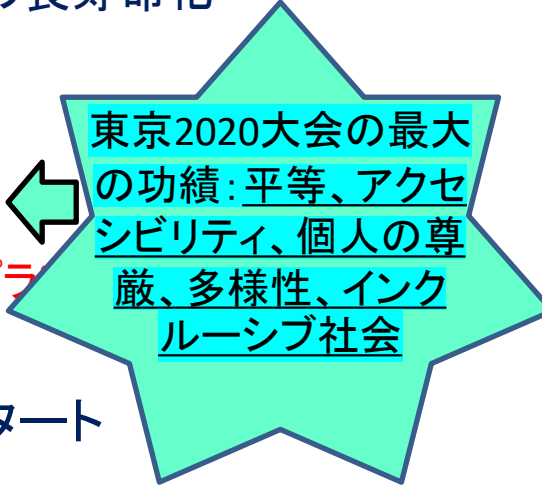
■ 人々の意識

⇒ 障害があるだけで差別や偏見を受ける、

予算がない、**流石に構造上バリアフリーができないとは言わなくなっている**

近年のBF/UDに関わる主な施策の動き

- ・2013 東京2020大会招致決定、障害者差別解消法成立
- ・2016 文科省「熊本地震の被害を踏まえた学校施設の整備について」
 - ・学校施設の断熱性能、ユニバーサルデザイン化、施設の長寿命化
- ・2016 新国立競技場UDワークショップスタート
- ・2017 ユニバーサルデザイン2020行動計画(関係閣僚会議)
- ・2017 Tokyoアクセシビリティ・ガイドライン公表 (IPC承認)
- ・2018 バリアフリー法改正 (社会的障壁、共生社会、BFマスタープラン)
- ・2019 内閣官房UD2020行動計画評価会議スタート
- ・2019 国交省移動等円滑化評価会議(地域分科会も同時)スタート
- ・2019 建築設計標準追補版(ホテル・旅館)
- ・2019 ホテル・旅館の客室基準改正施行(車椅子使用者用客室1%以上、一般客室UD化)
- ・2020 文科省新学習指導要領改正 小学校「心のバリアフリー」教育スタート
- ・2020 BF法改正(交通事業者のソフト対策、公立小中学校義務化、トイレや駐車場の適正利用)
 - ・BF基本方針改定(R2-R7)、BF・MP+基本方針ガイドライン改訂等
- ・2020 学校BFの緊急提言+学校BF推進指針改定
- ・2021 建築設計標準改正(多様化のBF、重度障害者、性的マイノリティ、小規模店舗)



東京2020大会の最大の功績: 平等、アクセシビリティ、個人の尊厳、多様性、インクルーシブ社会

Case1. 1998年長野冬季五輪の偉大なレガシー

■1998年長野県善光寺(国宝)

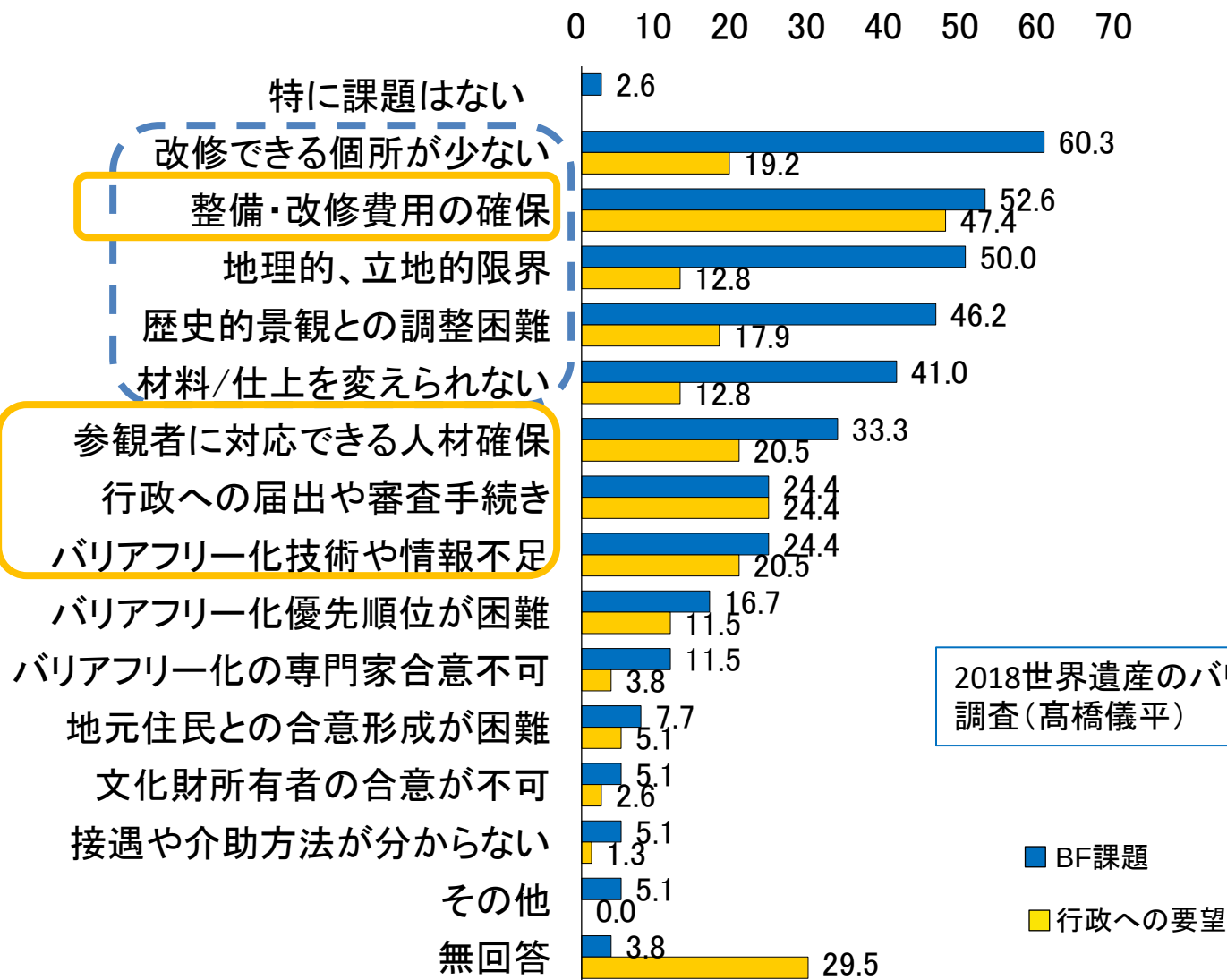
文化財のバリアフリー化により、多くの
人々が文化や歴史を享受すること
できる。

次世代の多くの
人々に文化や歴
史が継承される



仮設傾斜路: 1998長野冬季五輪から仮設のまま使用中

観光地・世界文化遺産のバリアフリー化の現状の課題



2018世界遺産のバリアフリー調査(高橋儀平)

■ BF課題

■ 行政への要望

多様な参観者を受け入れる課題と行政要望(MA)



見 学 料 admission price	
大人 Adults	¥ 1,000
高校・大学生 High School and University students	¥ 250
小・中学生 Elementary and Junior High School students	¥ 150

※富田市長は、住所が登録できるもの（運転免許証等）をこ提供ください。
 ※入館料は現金（クレジットカード）でお持ちの方と自費者（現金）とを別れます。
 ※富田市では、世界遺産・国史となった富田製糸場を保存するために、製糸場を
 保存整備工事の財源とし、計画的に建造物の保存整備と整備道路を建設していま
 す。景観と文化遺産を両立させ共に作り、次の世代に引き継ぐため適切な保存策
 策に努めてまいります。



富岡製糸所：救護室・授乳室

旧社宅を暫定使用中、看護師の常駐はなく、
職員対応、2019.4～2020.1まで21名利用、
0歳児から70代まで



大阪城 1931RC造で再建、登録有形文化財



Case2. 変わらないもの、街を歩く



○視覚に障害がある人にこの敷設は理解できると思いますか??

Case2. 変わらないもの、街を歩く



Case3. 東京2020大会競技施設整備のUDが動く

国立競技場のUD化がなぜできたか



IPCアクセシビリティ・ガイド

①アクセシビリティとインクルージョンの基本原則

⇒ 公平性、個人の尊厳、機能性

国連障害者の権利条約

⇒ 提供される施設やサービスは、個人の能力や選択に応じて同じ体験ができなければならない。

②アクセシブルでインクルーシブな大会の実現

・障害者団体、専門家との協働

③Tokyo大会アクセシビリティ基準の制定

・アクセス、大会会場、選手村、空港、イベント

④アクセシブルでインクルーシブな開催都市整備

・交通、サイン、ホテル、文化活動、教育、雇用

IPCアクセシビリティ・ガイドが伝えている事

●アクセスは**基本的人権**

●アクセシビリティは、「**先進国**」といわれる**国々でもあらゆる人々が容易に利用できる環境に到達してはいない**」。

Tokyoアクセシビリティ・ガイドライン

* **基準の策定**

* **全国への波及**

UDの取り組みを変えた国立競技場のUD業務要求水準

●ユニバーサルデザインに関する基本的性能

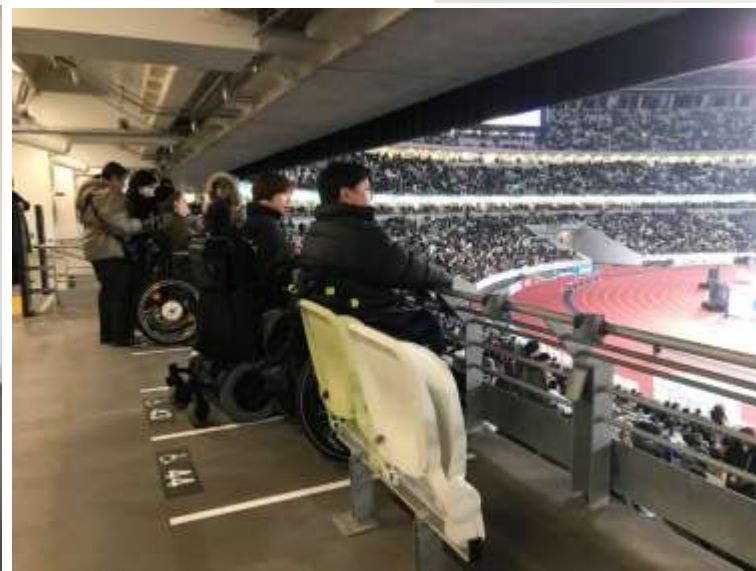
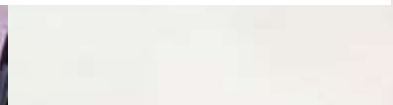
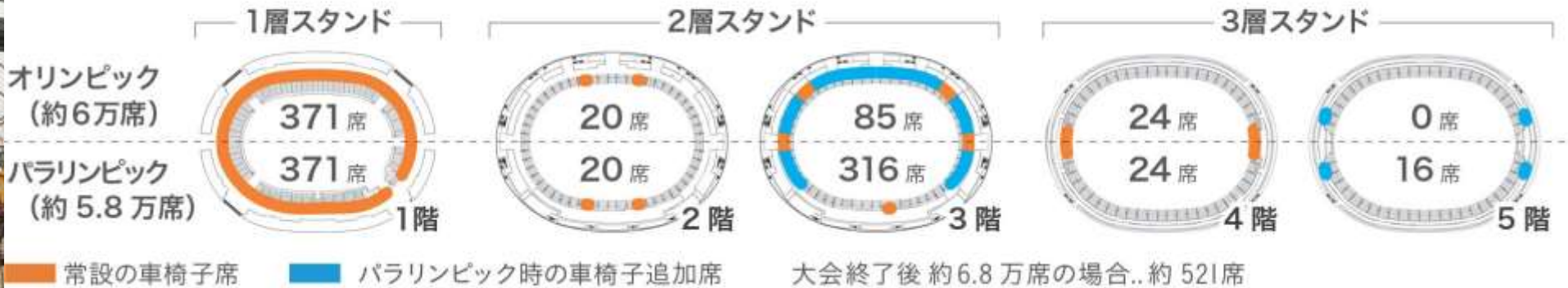
「官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準」に定められることのほか、下記の条件を満たすこと。

- ① **IPC Accessibility Guide**(2013/6、東京版2017/03 IPC承認)を踏まえ計画する。
- ② オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を踏まえ、全ての利用者が円滑に利用できる『**世界最高のユニバーサルデザイン**』を導入したスタジアムを目指す。
- ③ **ユニバーサルデザインの実現に最も重要な点は、多様な利用者ニーズの把握である。**そのため、**設計から施工段階において、高齢者、障がい者団体及び子育てグループ等の参画を得てユニバーサルデザイン・ワークショップを開催し、関係者の意見を集約した上で業務を進める。**

UDワークショップを公共施設整備のレガシーへ

客席(国立競技場)

全ての階にバランスよく車椅子席を計画 (5階はパラリンピック大会開催時のみ / 席数は設計時のものを示す)



UDワークショップを公共施設整備のレガシーへ

標準車いすトイレ





国立屋外コー ンコースの「多 機能トイレ」

大会後の公園利用を考慮して
競技場の屋外から利用できる2
箇所のトイレゾーンを設計した
が、**設計変更が出来ず機能分
散が徹底されなかった。**

危惧した通り、ゲートが開くまで
に多くの来場者が一般トイレや
多機能トイレに殺到、車椅子使
用者が利用できない状況が長
時間続いた。



Case4. 公共トイレで真のインクルーシブ社会を目指す

誰一人取り残さない公共トイレ



Case5. 教育の現場が変わる 学校施設のバリアフリー化の背景

① インクルーシブ教育の実現

- ・障害等の有無にかかわらず、誰もが支障なく学校生活を送ることができる学校環境の整備の必要性
- ・合理的配慮の提供、インクルーシブ教育システムの理念の構築
- ・障害のある教職員が働きやすい環境整備

障害者の権利条約
UD2020行動計画

バリアフリー化の現状

総学校数	車椅子使用者用トイレ			エレベーター 1階建ての校舎 のみの学校を 含む (2階建て 以上 26.2%)
		門から建物の前 まで	昇降口・玄関等から 教室等まで	
28,156 (100.0%)	18,359 (65.2%)	22,111 (78.5%)	16,122 (57.3%)	7,634 (27.1%)

配慮が必要な児童生徒等が在籍する学校数	車椅子使用者用トイレ			エレベーター 1階建ての校舎のみ保有する学校を含む
		スロープ等による段差解消 門から建物の前 まで	昇降口・玄関等から 教室等まで	
6,303 (100.0%)	4,970 (78.9%)	5,395 (85.6%)	4,576 (72.6%)	2,568 (40.7%)

② 災害時の避難所

小・中学校の 94.9%が避難所 の指定

・公立小中学校等
の9割以上が災
害時の避難所に
指定されている

・適切な避難経路
の確保と、良好な
避難生活を送るこ
とができる学校
施設の整備

避難所の指定状況

ほとすべての公立学校が避難所に指定されている。学校施設は地域住民にとって極めて重要な公共施設である。防災機能の拡大は学校バリアフリー化の重要な論点であり、同時に防災機能の強化が必要。

【避難所に指定されている学校の防災機能の保有状況】

(平成31年4月現在)

学校種別	小・中学校	高等学校	特別支援学校
全公立学校数及び避難所指定学校数			
全公立学校数	28,613校 (100%)	3,599校 (100%)	1,073校 (100%)
避難所指定 学校数	27,149校 (94.9%)	2,712校 (75.4%)	488校 (45.5%)

※ 小・中学校には、義務教育学校及び中等教育学校（前期課程）を含む。

※ 高等学校には、中等教育学校（後期課程）を含む。

※ 避難所には、災害対策基本法に基づく指定避難所の指定が行われていない場合は、従来の地域防災計画に基づく「避難所」を含む
(出典) 避難所となる公立学校施設の防災機能に関する調査（文部科学省）

学校施設のバリアフリー化推進の基本的な考え方(文科省2020/12)

- ・誰一人取り残さない(No one will be left behind.)
- ・持続可能で多様性を尊重するインクルーシブ社会の実現
- ・互いを認め、支え合い、誰もが自信と誇りをもって社会に参画し、障害の有無や性別、国籍の違いなどに関わらず、人々がともに暮らしていくための学びの基盤となる環境整備
- ・学校施設を整備する際には、児童生徒、教職員、保護者、地域住民等の多様な人々の参画により、ユニバーサルデザインの観点から計画・設計

インクルーシブ教育の現場



広がる多様な教育スペース



Case6. 伝統も文化も継承される、UDは多様である

Ajanta Caves in India



まとめ

●UDは日常である

⇒障害のある人、性的マイノリティの人が身近にいるのはごく自然、普通のこと、特別なことではない。私たちが『特別』にしてしまい、「心のバリアフリー」を叫ぶということの方がむしろ不自然、当たり前ではない。

- 必要なのは、多様な人々との出会い、その出会いが差別しない社会への大きな一歩
- 既存施設の改修は時間とコストがかかる。長期的なバリアフリー整備計画を立案し、優先順位を明確にする
- 「心のバリアフリー」が叫ばれている。学校施設のUD化こそ地域の公共施設整備のモデルであるべき
- とはいえ、人々の差別や偏見は解消されない。気づきを形に変えないと多くの場合気づかない。
- 東京2020大会のレガシーは「本当に共生社会を作る」強い意志を持つことだけ。

最後に
ちょっぴり宣伝！

脳性麻痺者に出
会って50年、その
思いとその後の活
動を2019年8月、
彰国社から出版さ
せて頂きました！

